



# ぴっぴだより

2010年度  
NO.1 2010.1.28



雪の中でも木々の冬芽は少しずりぶくらみ、春の足音を待っています。  
今日はどんな素直な「ピッチ」が出来上がるかとても楽しみです。

- ④ 4月9日(金)の入園の日は、親子一緒に楽しい時間を過ごしたいと思っております。
- ④ 登園時間は9時30分、降園時間は12時30分です。今から少しずつ生活リズムを整えていきましょう。
- ④ いざらくは、火曜日・金曜日の週2回が保育日です。子どもたちの様子を見ながら、週3回入園移行していく予定です。
- ④ 春までに「家」まで用意していただくもの。
  - ・着がえ(靴下・パンツ)、帽子、雨がっぱ(しっくい防水のきいて、できれば上下に分かれているもの)、必要ならばオムツ、汚れものを入れるビニール袋、これらをひとまとめにして、子どもが自分で背負えるリュックサック(タイロップでぬれにくい素材のもの)に入れて毎回お持ちください。
  - ・泥んこでぬれたため、替えの運動靴。(リュックに入らぬ時は別袋に入れ毎回お持ちください)
  - ・全ての持ち物(靴・オムツ・靴下・紙やビニール袋にも)に記名をお願いします。
- ④ 今日お渡しした健康診断表は、それぞれ一日(本園入園の日)に提出をお願いします。
- ④ 何か急なご用がございましたら、遠慮なく携帯電話へご連絡ください。

- ・中澤真弓 携帯 090-7731-5607  
携帯X-アドレス noharauta.0802@docomo.ne.jp  
パソコンX-アドレス nakacaw@mub.biglobe.ne.jp
- ・斎土美穂子 携帯 090-2751-5937  
携帯X-アドレス St.Secilia66katuizawa@docomo.ne.jp  
パソコンX-アドレス vamuvega@db4.so-net.ne.jp



# ぴっぴだより

No.2 2010.4.9



浅間山も雪解けの季節を迎えました。この春5人の子ども達を送り出し卒園生ご家族からたくさんのお言葉をかけていただきました。その中で「本当に楽しい美しい日々だったね」という言葉の「美しい」がとても印象深く残りました。美しい…生き方や哲学とつながっているように。心に響く染み渡るような言葉に感じました。4年目に入ったぴっぴはぴっぴを愛するたくさんの方達に絆がけ、私はつながる一人一人が「同志」に思えるようになってきました。どんな「同志」？ 心地よい生き方、シブい生活者さやかたの関わり。自分の手で生み出す豊かさ…そんなことを自然に大切にしていく仲間…そんな思いの人々に支えられているぴっぴは。今年度もきっと子どもも大人も共に育ち合う場になるのだらうと思います。

新たに12人の子ども達ご家族を初迎えし2歳児13名3歳児4名4歳児5名のスタートです。大人に依存してきた子どもが「自分こそ自分の主人公」と知り自分の「つくり」にこだわって行動するようになる運動能力が発達して身体を通して世界をつかまえようとする。高藤をくり返しから自分づくりを始める2歳児。友だちとの関わりがより積極的に「対人」社会性が育ち、心の欲求を主張し始める自己主張期の3歳児。特徴がつかみにくいと言われる4歳児は手足が急激に伸び運動遊びが適した時期。「私がしあげて(何の役にたつか)と仲間意識も4歳児ならではでしょう。

三学年かどんな関わりをしていくのかとても楽しみです。子ども本来の生き方を守る場がぴっぴの保育であらうことを願っています。子ども自身が必要としていることに心をかけ、心を込めて子ども達と向き合いたいと思います。

真弓

最近、小学校に入るまでのことを時々思い出しています。泥水でうがいをした時のあの味。乾いた釘が手の平に刺さった時の赤い血。猛吹雪の中、一人でソリ遊びをした時、頬にぶつかってきた雪の粒のこと。初めて川でおぼれた時のあの怖さ。大人になってもはまりし思い出すことのできたくさんのあの「感じ」。わっぴの子ども達も森の中で毎日、沢山の感じを味わっているのだらう。みんなと一緒に1つ1つの「感じ」を楽しみたいと思います。

慎之介

子どもたちと一緒に森の小道を歩けば、たくさんキラキラした時を過ごすことができます。森はあ、という間にウイロンだけの森。寝台列車に早変わり。落ち葉の上に寝転べば、空の雲がふうわり。枝先にはシジュウカラが「ツツピー」とさえずっています。お腹がすけば、ルビ色のウグイスカグラは最高のおやつになります。秋は、桃色のマユミ、真、赤なガマズミなどが宝石のように輝き、それをかごに集めるみんなの顔は木の実にまけたよくらい輝いています。今年も素晴らしい発見者であり、収穫家の子どもたちとどんな森を歩けるのか、楽しみです。菜々恵バケツの水につけてお水の種もみか小さく芽を出し、もうすぐ田んぼの苗床に水の種もみ蒔きをします。小さく苗が背を伸ばしたらいよいよ田植え。田んぼの一年の始まりは始まり。火田には何の種を蒔こうか。たくさん遊んでたくさん笑って泣いてたくさんたくさん食べようね。美和子

## 一学期の保育日

4月 9日(金) 13日(火) 16日(金) 20日(火) 23日(金) 27日(火)

\* 4/30(金)は休園とし、9/1週に振り替え日。

5月 7日(金) 11日(火) 14日(金) 18日(火) 21日(金) 25日(火) 28日(金)

6月 1日(火) 4日(金) 8日(火) 11日(金) 15日(火) 18日(金) 22日(火) 25日(金) 29日(火)

7月 2日(金) 6日(火) 9日(金) 13日(火) 16日(金)

保育時間 新入園児はしばらく 9:30 ~ 12:30

継続児は 9:30 ~ 1:30

これらの親子ランチの時に、大人の方にはランチ代300円を集合させていただけたく、おにマイカフマイお箸持参をお願いいたします。



春がきて 花々がいっせいに開く頃に あざやかに 自我が  
めげえ ことばが広がり 人との関係が育っていく おおきいくみの  
子ども達。子ども達の 生命のリズムに合った やつたりした 生活の中  
に 子ども達が 生き生きと 楽しみ 生き生きと 困惑し 生き生きと 悲し  
むこともあったらいいなと思ってる。 「子ども達が 生きることの意味を見  
出さ」のを 手伝えたら...と 願ってる。今年も よろしく お願いいた  
してる。

・一学期 おおきいくみ 保育日

4月 12(月) 14(水) 15(木) 19(月) 21(水) 22(木) 26(月) 28(水)

5月 6(木) 10(月) 12(水) 13(木) 17(月) 19(水) 20(木) 24(月) 26(水)

27(木) 31(月)

6月 2(水) 3(木) 7(月) 9(水) 10(木) 14(月) 16(水) 17(木) 21(月)

23(水) 24(木) 28(月) 30(水)

7月 1(木) 5(月) 7(水) 8(木) 12(月) 14(水) 15(木)

・保育時間 9:30 ~ 1:30

・保育スタッフ 月曜日 まゆ・わか 又子 しん

水曜日 まゆ・しん

木曜日 まゆ・たけ

・お2・お4月曜日には 田んぼ・畑の日。

あっちんわこさんの 畑の隣りに おおきいくみの畑を作っちゃおう!

お天気が悪くはない限り 一日 田んぼで過ごせると 思ってる。田んぼへ  
の送り迎えを お願いしてる。

・木曜日 森あそびの日

4月 森の小さな妖精たちに会いにこよう

5月 いろいろ草花 あそび

6月 いろいろな葉っぱ・形・におい

7月 水の中の生きものを つかえよう

9月 どうぶつ達が 食べる 木の実を集めよう

10月 色とりどりの 木の実を集めよう

11月 つるど ぐるぐる あそぼう

12月 おちぼの おぶろを つくらう。

1月 雪の上を 探検しよう

2月 冬芽を 観察しよう

3月 春を つかえよう

・ようちえんバス?(しんさんの車)に乗って お出かけしよう。

・2010年度 小浅間山やまのぼりには 秋に行きましょ!

・アートの日(月2回予定)

講師に 小林郁絵さんをお迎えして 描くことを 楽しませよう。

お1回 4月19日(月) 下記のことを 持たせてください。

①空きびん 一人一つ 筆を洗おう。

②プリンカップTボ(直径7cm x 深さ3cm位) 一人3個 忘れずに

③ぼろぞり 一人一つ 筆をふきよう。

板・シュツクマー社の 平筆と 水彩絵の具は どちらでも 用意しました。



# びっぴだより

No.3 2010.4.27



レンギョウの黄色い花、ウグイスカグラの桃色の花がほろほろと咲き始め、ツグミやウグイスの歌声が響く森。22人のびっぴの子どもたちはそれぞれ自分のペースで歩き始めています。子どもたちにもわかりやすいように、昨年度からの継続組10人を「まっほうくり」さん、新入組12人を「どんぐり」さんと呼ぶことにしました。まだびっぴが安心できる自分の居場所として位置がきて、少し不安そうな表情のときもあるどんぐりさん。大好きなお母さんと一緒にいて、涙が出ることもありません。スズの4人が涙の人に寄り合っているとき、どんどん自分たちで遊びを盛り出しているまっほうくりさん。面白い遊びを考えた、自分で上れたよ！と高い鉄棒の上から「ヤッホー！」と手を高く上げて合図してあげられはくさめんね...と心の中で謝りつつも、自分たちでどんどん進んでいく姿に逞しさ、たのしみを感じます。そんな大きな人たちの様子を見て、泣いていた人の涙がびっぴに伝わることも...一人一人の不安や気持に寄り合いつつも、集団の楽しさを感じたり、面白いことに関わりたがることで、また一歩どんぐりさんたちも前へ進めるようになった...そんなことも大切にしていきたいと思っています。

「これ、お母さんに渡してくれる？」「コップを並べてもらえますか？」お友達同士とお手伝いしながら張り切ってやってくれるまっほうくりさんには、このころ本当にいつも感謝です。

田んぼでは、苗床に蒔いた稲の青い小さな芽がやと顔を出しました。蒔いた直後は大雪に見舞われ、芽を出してくれるのか本当に心配でしたが、小さな種のかは強いんですね。小さな子どもたち、小さな種。その自ら持つ力を信じて、これから少しだけ手助けはあつたら、見守り支えていきたいと思っています。

美和子



# おおきくおたより

新しい「おはようのうた」もあという間に覚え、初めドキドキわくわくの表情だった「ほんまご相談」も慣れ、今回は積極的に手を挙げる新メンバーの健太くん、湖晴ちゃん、麗史奈ちゃんなど、8名に1列やりとりもおもしろくなりました。今年はアートプロジェクト、小林郁絵さんに来ていただくことにしました。鳥居がすぐ目のあたりに、春の光に包まれるように森の絵を描く姿が絵に描かれました。①「今日の空は何色？...大きな星を描いてみて、今後は光を描いてみて」②「お母さんの光...お星さんの光...お母さんの光!...」③「お父さんの太陽を描いてみて」お話をしながら筆を動かす。専門性の高い分野はやはり専門の方に来ていただく充実した時を感じました。子ども達と木々を拾い始め、家づくりも始まりました。お母さんの焚き火に使うお箸と、薪運びもしました。リュックに軍手をに入れておいたおたよりを願いの紙に、頭を守るためにも帽子は忘れずに...ね。

次回アートの日 5月12日(水) 2時。(アートセット よろしく!)

真弓

- 持ち物への記名を再度確認お願しいたします。特に靴、長靴、靴下、雨かっぱ、リュックサックへの記名がわかりにくいものが多く、着替えの時に混雑しています。自立つ・わかりやすい所への記名をお願しいします。
- これから梅雨の季節、まだまだ寒い日があります。
  - ・着替えには暖かい靴下やスパッツ、ベストやフリース等、寒い日に着せられるものも入れてください。まだ気温が不安定です。脱ぎ着かできる衣類をリュックの中に多めにに入れておいてお願しいします。
  - ・靴と長靴は必ず「替えの靴」は必ずお持ちにしてください。
  - ・そろそろしかりとした雨かっぱと、長靴の準備をお願しいたします。





# ひっぴだより

NO. 4 2010. 5. 28

小さく、堅かった木の芽が幾度も雨とあたたかな日の光を浴びてほろび、森はまばしい新緑の季節を迎えました。やわらかい優しい緑。萌木色、若草色、若菜色、銀鼠色、かぞえきれない緑の色を森では見ることが出来ます。

そんな緑のように「どんぶり」さんのびもふんわりほどけてきているのでしょうか。真夏のあいさつやおはようの歌をみんなまで口ずさみ、咲良ちゃん、海国ちゃん、しんさん、紗菜ちゃん、英奈ちゃんのお誕生日をお祝いし、森のケーキでお祝いしたり...嬉しい時間をみんなと過ごすことでたくさんの笑顔に会えた5月でした。遊びの中では自分からお池にとびこみびり、しりとり泥んこに「おたまり」虫探して重いセカリ株を倒して、その下をのぞいてみたり、おトイレに行くことも忘れてしまふくらい遊びに熱中する姿がみられました。また、「まっぴ、くり」のみんなも、「どんぶり」さんと関わりながら、名前を呼び合ったり、頼もしく導き、時には同じ遊び仲間、喧嘩仲間として様々に関わってくれています。

長く厳しい冬を乗り越えるため、半年以上着続けられたたく強固なセーター(冬芽)はおひさまのやわらかな光でほだかれ、一雨ごとに葉は大きく、濃くたがってゆきます。その緑の葉はやがて、小さな虫たちの食料となり、その虫たちの出現とともに、5月、小鳥たちの子育てがはじまります。ひっぴの森でよく目にするシジュウカラは、平均9羽のひなを育てますが、巣立つ頃、1日に1羽あたり、300匹近くの虫を必要とします。とすると全量で...?何匹?その虫たちを育む葉の量は...!! こうして、緑の葉は自らの命を支え、虫たち鳥たち、動物たちをも育んでゆきます。自然のこうした営みとみていると、森に人間の育ちも、ゆっくりとおひさまの光を浴び、雨の恵みを受け、葉が開く時があるのだと思います。そして、誰かとつながり合い、関わりながら、生きていくのだと、森の中にいるとじんわりと思うのです。

まもなく6月。森の木々もやさしい雨とおひさまの光を浴び、濃く緑のどっしりとした姿に変わり、白い花々が咲き競い、花を訪れるチョウたちが乱舞する眩しい季節を迎えていきます。

菜々恵

## おあきいくみ だより

.....が加わって9名に例) さらにパワーアップのおあきいくみです。5月はしんさん 英奈ちゃんのお誕生日が続き おあきいくみのお祝いは 絵本やおうちの方からのメッセージのあと みんなから「つむりのプレゼント」を渡します。一分間目を閉じて「つむりのプレゼント」を考えます。「その人」のことを思っている一分間です。①心をこめて考えること ②喜んでくれるね。③お店屋さんで買えないもの、の三つの条件を出し合いました。プレゼントを両手に持っている「つむり」ご主人「おんどり、ははのどり」と渡します。

お料理の絵本を二冊読んで お料理の相談。その後つむりのおおは遊び始めの「おあきいくみ」が「お買物に一緒に行こう! 行きたい」と...みんな話すと「行きたい!」しんさんも「うん!」と...何とつむりバス(しんさんの車)に乗ってツルヤさんに行きつけました。二つ手をたたくて「静かに〜お買物...」思いついたおもしろい経験でした。

2回目のアートは赤のリングを一つ描きました。次に郁絵さんが「青を優しく包んで」「優しく包んでどんぶり?」「赤を優しく包んで」「赤が喜んでくれる」と声のかけ方もあるんですね。色一つ一つの思いも私も学んでいます。

次回アト日は 6月3日(木) です。 凧

新入園の子ども達の遊びの様子から 6月分週3日の保育を開始することになりました。7月までの保育日を お知らせしてあげようが 下記の日の追加をお願いいたします。

6/2(水) 9(水) 16(水) 23(水) 30(水) 7/7(水) 14(水)

おあきいくみの方は上記の日は「ひっぴ」に例ですのでお弁当水筒は要りません。おあきいくみ6月分月費は4000円に例が7月に納入袋に3000円を書いてはいたけれど、差額1000円は7月分納入時に請求させていただきます。

今年度のお泊り保育は親子一緒に7/9(金)夕方~7/10(土)10時頃を予定しています。7/9(金)の通常保育は行いません。詳しくは「ひっぴだより」次号にてお知らせいたします。





# ぴっぴだより

No.5 2010.6.29



ぴっぴが週3日になった6月。朝の集まりでお名前を呼ぶ時、切り株の周りには、みんな歌声が響きます。

♪ ○○ちゃん、○○ちゃんはどこでしょう  
ここです ここです ここにいますー♪

自分の名前が呼ばれ、思うがままの身振り手振りや踊り、時にはおもしろい顔で「ここにいます！」とアピール。周りのみんなは、リズムにあわせてその子を指差します。最初のうちは、「あ、それ誰だっけ？」とキョロキョロお様子も、どうもありません。最近では、誰かの名前が呼ばれ、自然と身体や指、視線がその子に向いています。アクションが、たんたんユニークな子もいたりして、笑いが起こることもしばしば。

4月に初めて出会った子同士は、お互いの名前を呼びあひながら遊んでいるのも日常的になり、まっぼくりさんしてんぐりさんが、なんとも命がけで遊んでいるこの多から4月が、遠い昔のことのようです。

名前を呼ぶあやうになり、互いの解像度がアップし、セントが合いくら距離が近くなり、関わりあひが深くなりはじめ。そんなことを改めて実感する6月でした。

7月9、10日にはお泊り保育がありますね。お互いの名前を呼びあひながら、ゆらりとした時間を過ごしましょう。

真之介



## おおきいくみだより

歌うことが好きなみんなは4月から「うさぎにまつてピクニック」だから今日は「雨ふり」「世界中の子どもたちが」「にじ」を楽しんできました。今、毎日のように歌っている「世界中の～」は、特に体を揺らして歌うので、手拍子だけでなく即席の各々の楽器で歌います。健太くんは、歌が始まるとさっと私の前に来てお腹を出るので、私は毎回健太くん腹太鼓を叩かせてもらっています。

「1.2 サンプ。2.2 サンプ～ム」という歌あそびは、ストップがかかると静止し、けいげんばいせん。動いていると座らなければならぬ。復活時にはだれかに「一緒にけいげん！」と肩をたたくてもらいます。何人も人が優しく声をかけ、みんなが交わって楽しんでいます。

カブの間引き、草刈り、川遊びに田んぼへそして水田の生きものに出会いにコバトープ(小林さんのビオトープ)へ行きました。雨日お日さまをいっぱい浴びてきました。

7月のアト日 1日(木) 15日(木)

真弓

## 一学期最終日 降園時間変更のお知らせ

4月に入ってきただけのどんぐりさんは、大きなリュックサックを背負ってゆっくりにゆっくりにトイレへ... 後ろから見ているとリュックサックが歩いているように... 重いので「大丈夫？」と声をかけるとみんな「大丈夫!!」 ぴっぴの大切な一人としてしっかり存在しています。大きな深い刺激が、あつたあつたの3ヶ月たつたのたつたと思えます。

あつたあつたの一学期... 最終日は、少し特別なプログラムを過ごしたいので、降園時間を一緒にします。送迎をよろしくお願ひいたします。

・7月16日(金) 降園時間 全員 P.M.1時。

・安藤海園ちゃんがいっしょに来てくれた梅。みんなで作った梅ジュースもこの日に楽しみたいと思います。

# ひっぴだより No.6 2010.7.16

- ・ 森をお散歩中 緩い坂で万葉ちゃんが転んだ。①は泣かず一瞬びっくりした様子。すぐに行人くん、咲良ちゃんが駆け寄り「大丈夫？」と自分のことと精一杯の小まな二人のお友達への思いに胸がいっぱいになりました。
- ・ ランチ時 榎くんのお食事がなかなかすすまない。食べ終わった英奈ちゃんはお尻かけごはんを②の口へ。ちよと口に入れるが積極的に食べようとしない。次に人参を口へ... 食べたみたいで③は人参を小さく切って口へ... 途中④は少し咳をする。向かいに座っていた紗菜ちゃんがさっと立ち上り手を伸ばし⑤の背中をさすっている。⑥も⑦の右側からさすっている。そのうち椅子から立ち歩き始める⑧。⑨はスプーンを持って後を追う。⑩「もう... 大変ねえと嬉しそうに笑っている。
- ・ 夜の豪雨のあとの水たまり いっぱいのひっぴの森... 次々に長靴でビしゃへバしゃへという裸足に... 海国ちゃん 果林ちゃんも水と一体のようには素晴らしい笑顔... 早いお日さまの登場でみんなも水たまりも木々もキラキラ... 登園してきた咲良ちゃんが水たまりを見て「これはお水のプレゼントなの？」
- ・ ランチ後 どんぐりさん達だけで関わって遊んでいる。パン屋に行き「チョコパンぞ〜」 「ケーキぞ〜」... 泰雅くんも果林ちゃんも宇大胡くんもお気に入りのカップを持っていきお友達のをりとりを無理強いに見入っている。どんぐりさんだけの毎日の時間なのかとも思う。
- ・ 「オシロイを探して行こう！」とお散歩に二人づつ手を繋いで出発!! 刈カエデの葉にドロハマ4コツキのゆりかごを見つける。そとそとほどこくそれはそれは小まな卵をみんなで見守る。
- ・ ランチ後 宗悟くんは食べ終わった人のお皿を見つけては重ねて片付けている。湖晴ちゃんが席から離れてお皿を片付けられてしまう。もどってきた⑪はあれ? という表情引いて⑫のお手紙に気づき嬉しいか⑬をぎゅと抱きしめる。

- ・ 渚月ちゃんの手のひらにとげ... 抱いてとげぬきをしてるとどんぐりさん達が集まってきて「痛くなるよとぞいっている。榎くんが「心配してるよ〜」と声をかけている。
  - ・ ランチ時 ランチマットを敷いたり 食器を配ったり... まっぼくりさんのお手紙がたくさん... 康生くん、知弥くん、健太くんはお手拭きを濡らして絞りに。ふんふん絞るのが難しそうに⑭は絞ってテーブルにもどる時に一枚落としてまた濡らして絞って... 絞るのが難しそうに⑮はさうち流しのふちにタオルを乗せ押し水を出している。頼んでいないタオルまで濡らしてしまつた⑯は絞らずに手で揉みお日さまに向かて乾かしている... みんなの努力工夫に拍手!! ランチ後の紗菜ちゃんのお手紙は洗濯仕事もおかじ!!
  - ・ みんなで順番に並んで「ふ〜いどん!!」とかけっこ競争。走りたくて仕方ない菜月ちゃんと愛莉ちゃん... 何度も他の人の時も走っている。
  - ・ 海斗くんはランチをいたたきながら「おいしいねえ〜」を連発。「おいしいねえは周りのみんなもつい口に運んでおたたく魔法の言葉...
  - ・ 大李くんはどんぐりさんに「貸して〜」と言われると嬉しそうに「いいよ〜」決して「だめ」と言わず「だいちゃんかやてあげようか〜」
  - ・ 森の道の真中に座りこんで頭をくっつけじっと見入っている久道くんと康生くん。しゃくとり虫の「おーいおとんとくにおやい」を観察中。枝から枝へ移らせてあげたり。葉っぱに集めたり... この頃二人の観察観察が増えた。
  - ・ 宇大胡くんは摘んだものを捨てたものを捨てずに最後までしっかり握っている。玲月ちゃん「ママにお手紙!」といつも何か手に握っている。今日は落ちていた緑のクルミの実4~5個を愛莉ちゃんに両手で包んでいる。
  - ・ 久しぶりに登園してきた麗史奈ちゃんにみんなの大歓迎の嵐... ていそくて嬉しくて下を向いて笑っている。みんなが集まってみんなの「ひっぴ」が始まる。
- たくさんの優待を積み重ねてきた一学期。一人一人の子どもの満ちた表情を思い浮かべている。私達大人も優待を紡いでいきたいですね。お泊り会はお疲れさまでした。スタッフも4時半頃まで一緒に遊んでおたたくおたたく今年も完徹組もいれました。日頃ごちがい話をたくさん〜 楽しんでましたね。お休みの山口くん 何月くん 途中帰りの

左川さん 榎本さんに 各々から お泊り会を感じたことを分ち合っ  
あげてくださいね。

ひろひに園わり 子どものかわいがるエネルギーを補給できた一学期  
にふたではなか。長い夏休みに入ります。子どもの体内リズムを大  
切に感じながら。お元氣ぞ お過ごし下さい。

: 真弓

### ♪ 二学期の保育日

9月 1日(水) 3日(金) 7日(火) 8日(水) 10日(金) 14日(火)  
15日(水) 17日(金) 21日(火) 22日(水) 24日(金) 28日(火)  
29日(水)

10月 1日(金) 5日(火) 6日(水) 8日(金) 12日(火) 13日(水)  
15日(金) 19日(火) 20日(水) 22日(金) 26日(火) 27日(水)  
29日(金)

11月 2日(火) 5日(金) 9日(火) 10日(水) 12日(金) 16日(火)  
17日(水) 19日(金) 24日(水) 30日(火)

\* 1/26(金)は「森のひろみん全国フォーラムin山梨」のため休園とし、  
1/1週に振り替えます。

12月 1日(水) 3日(金) 7日(火) 8日(水) 10日(金) 14日(火)  
15日(水) 17日(金)

### ♪ 降園時間

どんぐりさんは 12時30分 でスタートいたしますが、子ども  
も遅い様子。早々に 1時30分に 移行予定です。

### ♪ おおきくお保育日

9/2(木) ~ 12/16(木) の月曜 木曜(祝日除く)  
※ 1/21(木)は、新入園説明会のため休園  
春休みの日に振り替えます。



### ♪ 来年度ひろひ入園継続について

お子さんか 来春から どこの属し、何を学ぶ、何を育てようとしているのか...  
夏休みに たくさん 悩み 考え(けて下さい。  
悩み 迷いは、このからも 子育ての中に たくさん あります。困った時は  
どうぞ 声をかけて下さいね。  
皆さんの お返事を 受けて 来年度の人数 体制を 考えています。  
5才児保育は 希望があれば 実施いたします。

来年度 継続希望 は 9/8(水) までに お知らせ下さい。

### ♪ 来年度入園希望者説明会

- ・ 10月21日(木) 10~12時 バイカルチャラ場
- ・ お近くに 希望される方が いらしゃいましたら お知らせ下さい。お申し込みが 必要であることを あわせて お知らせ下さい。
- ・ ひろひ HPIにも お知らせを 書いて あります。
- ・ 現ひろひの方で 昨年度の説明会に 出席して いた方は、今年度 出席して いただく と思いますので ぜひ いらして下さい。

### ♪ 畑畑でゴザリ

田んぼの稲は 青い葉を たくさん 繁らせ、茎も ぐらりと たくましく、スルスと  
育っています。やはり 早い(やめの 草取りが 終わったのか、雑草にも 負けず  
こたく 本当に 元気です。畑では おおきくみで 育てた カブと 人参が 大豊作。  
何度も ひろひの 食卓に 上り、皆で 美味しく いただきました。

ひろひの 森の 小豆畑では、ミニ大根と 人参、大豆を 育てています。大豆は  
枝豆として 少し 食べて、残りは 大豆として 42kg、お餅つきに 使う  
予定です。

夜の 田んぼには 今、ホタルが たくさん 光っています。ホタルが いるのは 園園の  
たくさんの 田んぼの 中でも おおきくみで 育てた 田んぼだけ... その 光を見ていると、農薬を 使わ  
ない きれいな 水の 田んぼへ、神様から 贈り物 いただいた 感じが 伝わってきます。







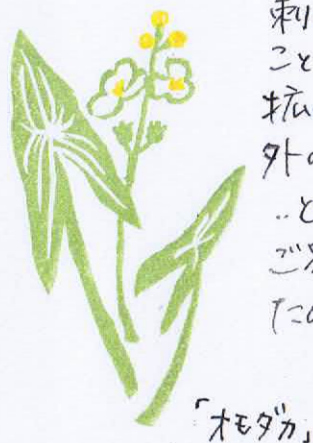
# ぴっぴだより No.7 2010.9.1

今年は本当に暑い夏でした。この暑さで田んぼの稲はグングン成長。7月下旬にはもう花が咲き穂が出始め。こゝろは早くにこは初めて。もちろん稲と同時に田んぼの草・田舎の草も伸びるのが早いこは早いこ。毎日へんがらの草刈りをしていて夏でした。今はもう稲の根が土に張り出し草取りに入ると根を切ってしまうので、草が伸びていても悔い思いつけぬのみ。取っても取っても生えてくる「オモダカ」という水草は、それはきれいな白い花を稲の間でひっそり静かに咲かせています。

そいつ暑い7月下旬、まゆみとオムは長野県北部大田市にある里外保育「風の森」へ出かけてきた。こゝは小川が別荘を拠点に保育をしていて、山には田んぼ・畑・林・森、少し足元のぼろと湿地、そして鹿島川という大きな川...周囲には里山と雄大な自然のフィールドが広がっていました。全部ぐるりと歩いてみると結構な距離で、「川はいいも川遊びしますか? こゝまで4才見も歩く?」「こゝに着いたら、でも途中でお弁当にしたらえ! というのもアリよ」ふふふ...色々刺激を受けて帰って来まして。

このころぴっぴのスタッフの間で急を呼んでいたのは、遊びが「こまじり」に「なつていこう」と。朝一斉に集まり、草の集まりができればいいのですが、遅れて来る人がいると登園してしばらく遊んでから集まり...まずこゝで遊びが途切れる。そして朝の集まりの後各々遊び始めて例えに「度々から少し高めに場所を遊んでいたり散歩に出かけていたとしても、ランチの準備まで戻らなきゃ...と時間に追われていこう...また遊びがこまじりに、少し遠出をした方がいいかと思ってみても「お昼の準備」に遊びが制約されてしまうことがありました。こゝに大田市の刺激...お弁当って? どうかな? 「皆で一緒に同じものを食べる」こともぴっぴが大切にしていることですが、年令や発達、遊びの幅が異なる今、週に一度くらいお弁当を持て、ぴっぴの森から少し外の世界へ出かけてみるのもいいかも...と考えようになりました。...というわけで、9月から水曜日、お弁当! やってみよう。様々な面でご家庭へのご協力をお願いしたいと思っています。「遊びの充実」のために、どうかよくお返事いたします。

: 美和子



「オモダカ」



## お弁当退園のお知らせ

ご家庭のご事情が重なり、ぴっぴを退園することになりました。咲良ちゃんの弟くんも誕生し、近々お顔を見せに来てくださるそうです。お元気のご様子です。

## お一回保護者会のお知らせ

日時 9月15日(水) 9時45分～  
場所 バイブルメインホール  
玄関側よりお入り下さい。



- ・万障お繰り合わせて皆さまのご参加をお願ひいたします。
- ・お一回保護者会に、ゲストとして飯綱高原こども森幼稚園創設者の内田幸一さんにお話しいただきます。
- ・来年度への継続希望の方は、この日を受けて申し込み書を配布し、申し込み受け付けをしたいと思いますので、申し込み締め切り日を変更いたします。  
9月8日(水) → 9月22日(水)

## お弁当持参についてのお願い

ぴっぴは子どもの体と感性を育む「食」にこだわり、ランチを手作りしています。一方で「ぴっぴのひろばでランチ」という枠は、遠出が難しいこと、遊びの中断が多いこと、に問題を感じていました。そこで水曜日のみお弁当持参にさせていただきます。「どこのお弁当」や「何ぶり遊ぶ」ことを楽しみたいと思います。気候や気温で、お変更をお伝えいたしますので、お弁当づくりをお願いいたします。



- ・開始日 9月8日(水)～毎週水曜日
- ・持ってくるもの お弁当と水筒 (テーブルの「お弁当持参のお願い」)
- ・軽食費は 水曜日がお弁当の旬、3000円/月といたします。



おおきくか 9月のアート日

16日(木) 27日(月)

準備をよろしくお願いいたします。



猿谷 瞳 さん をご紹介いたします。

7月より 数回 保育スタッフに加わって下さっていましたが 9月より  
不定期ですが 継続して 保育に関わって下さいます。

大手企業に 8年間勤務したのち 保育士に転職。ご結婚の  
ため 佐久に 移ってこられました。

子どもたちは「ひとかさん」と呼んでいます。よろしく  
お願いいたします。



田畑日記より

ひらひら畑に植えていた夏野菜は、夏休みの間に巨大に成長...  
よく太ったミニ(でんい)大根にバットのようなでかいキウリ。

どうしても軽井沢は夏野菜の収穫時期が夏休みにかかってしまう  
ので難しいですね。暑さで雑草もすごかったこと!

前にも書きましたように、田んぼの稲は暑さのため例年より早い  
ペースで成長しています。まだおおよその予想しかできませんが、  
このペースで稲刈りは9月下旬 21日から28日(火曜)辺りに予定  
です。まだ確定ではありませんがご予定ください。

畜士の田んぼの相棒、桑田 温美さんが12月に出産予定のため、  
この秋も田畑の作業が畜士一人の肩にかかっている状態です。

そのため水曜日も田畑に行くことが多くなるかもしれません。

水曜日午前中に草刈りなどお手伝いできる方がいらしたら、  
前日まで畜士までお声がけください。少しでも助けていただけ  
たらうれしいです。





# ひっぴだより

No.8 2010.10.1



長い暑い夏休みを終えて、9月。

今年は暑い暑い夏でしたが、ようやく森にも実りの秋がやってきました。ひかひかと光る真赤なこぶしの実を嬉しそうにみつける紗菜ちゃん、万葉ちゃん。「手品ができるんだよね。」とにっこり紗菜ちゃん。赤い実をそーとひっぱると...不思議不思議... そーと実から白い糸がでてきてぶらんぶらん。「わー!!」びくり笑顔の万葉ちゃん。その後、道に落ちてこぶしの実の前から重かなくなりました。森へ歩き出すとお母さんとの別れに悲しかった愛莉ちゃんが笑顔で栗を拾いだしたり。無口な海国ちゃんが「ここにも!きの子!」「しろい!みて!」なんてお話ししたり。普段じっくりコースの宇太郎くんがどんどりとともにころころと音を立てて、土反道をかけおたり...。森には不思議な力が本当にあるのだと思います。でも、そこには、「森にでかける」ということだけでなく、誰かと、友達と、大好きな人とともに歩く。発見する。喜ぶ。ということがあり、それが不思議な力によって働きかけるのだと思います。「みてみて〜」「こちきて〜」「わあ〜」「においかいでみて〜」「さーい!」「さわってみて〜」「つるつるだあ」「きれいだねえ」「ほんとだねえ」いっぱい発見、感動力、共感。そこには「こぶさんの笑顔があります。みんなの笑顔を見ると、嬉しくなって、また笑顔。

森で拾った栗を食べようと思ったら、栗の中に虫がいるのをみつけて。「虫がいっぱいいて気持ち悪い!ヤダ〜!」と玲月ちゃん。周りのみんながみて、「きつと栗がおいしいからだねー。」という。そうか。そうか〜。虫も自分と同じに栗が食べたんだ。とほっと気づいて笑顔になる。あるときまで嫌だった虫がかわいくみえたり...。生き物への共感。命への共感。どんどりさんとまっぼくさんの関わりもどんどん生球。様々な関係が紡がれていっています。そして、こぶさんの宝物を手にお母さんにあげるの!みせてあげる!という手の中に木の実にぎゅりゅ、手に入りきらなくて中の子やポケットにいれたり...。「わあ!すごいね!」というお母さんの笑顔と想い描きながら、子どもたちは森を歩いているのでね。

10月、森が本当に楽しい季節。子どもとご家族と一緒に森もお散歩してみませんか?  
菜々恵

## おあきいくみだより

一学期の頃より、おうちでお手紙を準備してひっぴでお友達に手渡すことに喜びを感じている子ども達が増えてきました。一緒に遊んで笑って相談してもめて困って泣いて...心を通わせる中で、大好きな気持ちを手紙に託してはるかのあ、シールを貼っていただけだったのが、少しずつ書ける字が増えたり、絵もしっかりしてきました。いただいたらお返事を書くというやりとりも楽しんでいます。だから今「こんにちはおあきだより」を託しています。おあきいくみの子も達へ、あすちゃんからぐりぐりから、だまちゃんから、はばはばあちゃんからたろうから...のお手紙です。あすちゃん達にもお手紙書きたいと...届けてあげたい。

10月のアート日 4日(月)・18日(月)

真弓

### ❖ どんどりさん 降園時間変更のお知らせ

10/5(火)〜 13時30分と訂正です。よろしくお願ひいたします。

### ❖ 保育参加について

子ども達の普段の様子を見ていただけるよう下記の様に保育参加を計画いたしました。ご希望の方は、スタッフにお声をおかけ下さい。

- ① お受けできる日 10/5(火) 6(水) 8(金) 12(火) 13(水) 15(金)  
19(火) 20(水)
- ② 時間 9:30 ~ 13:30
- ③ 人数 一日一組
- ④ ランク 火曜・金曜の方は ランク代300円が必要ですが、水曜の方はお弁当をご持参ください。
- ⑤ ご希望日か重なった場合 小さい弟妹がいらっしゃる方及どんどりさんを優先いたします。
- ⑥ 来年度入園希望の方の見学が落ち着いたら 保育参加を予定しています。





❖ これから少しずつ冬の寒さがやって来ます。氷点下の森で楽しく遊ぶごにめにはしっかりと衣服の装備をすることが大切です。真冬に向けて少しずつ準備していたらと思います。

- 一番外側に着るのはしっかりと防水のきいたスキーウェアをお勧めします。
- 手袋は毛糸のものだけでなく、スキー用の防水のもの。(色々替えが必要) 帽子は耳まで隠れる暖かいものを。靴下は厚手の暖かい素材のもの(複数回の替えが必要)を ご用意ください。
- 真冬は足元から冷えてきます。長靴ではなく、雪用の内側が暖かい素材のスノーブーツを ご用意ください。
- 近日中にこれらの見本を用意しますので、わからないことはスタッフにお尋ねください。
- 子どもの衣服や靴はすぐにサイズが小さくなります。お下がりや声かけ合っていたらごき。やりくりできるといいですね。

❖ 「森のようちえん全国交流フォーラム in 山梨」が、11月26日(金)~28日(日)、山梨県清里の清泉寮で開催されます。「みんなつたおれ子育ての輪」というテーマで全国の野営保育の仲間が集います。詳しく・申し込みはホームページをご覧ください。なお、このフォーラムにひろびろスタッフも参加するため、年間計画でお知らせした通り、11月26日(金)はひろびろの保育はお休みです。

❖ 田畑でより

稲刈り遠足お疲れ様でした。手に稲穂の重みを感じながらザラザラ刈り取りの感触はいいかでしたか。今年は長雨や猛暑で成育を心配していました。昨年は本刈り立てになったしほせ稲が今年にはワ本! 豊作でした。しかし近隣では暑すぎて伸び過ぎた稲が倒れ、下敷きになったお米から芽が出て虫食いもあきらめた田んぼもたくさんありました。稲作って難しい。天の恵みに感謝しながら三田間ゆっくりとお陽さまがお米をおいしくしてくれるのを待ち、脱粟しましょう。

そうそう... ひろびろ畑ではお餅つきのお米用に育てていた大豆が何者かに全部食べられてしまいました。鹿? カモシカ?? 動物との共生も難しい... ですね。

: 美和子



# びっぴだより

No.9. 2010.11.2

9月に行われた保護者の前後、来年度もびっぴを継続するかどうかということについて、出された結論は異なりですが、ご家庭でお子さんのことについて話し合う時間を持てたのは共通していることだと思います。親しいお子さんへの願い、これまでこの行事の意義のこと、どんなことを大切にしたいか...etc.

スタッフも同じ時期から、来春の新入園児の受け入れのことも含め、今後のびっぴについて何度も話し合いの場を持ちました。入園希望してくるお子はどれくらい受け入れられるか来春のびっぴは40名程度の規模になります。何らかの線ある入園希望してくるお子はどのくらい、気持ちとしては全員受け入れたい。でも、本当にこれだけの人数でいいのか？受け入れたいけど人数が足りないこと、どんなふうになるのか？様子を考えた。結論として人数については、定員を設けて一定人数以上にならないようにすることとした。こうして「びっぴの今後」について話し合う、びっぴが大切にしたいこと大切に継続したいこととしてスタッフも再確認(貴重な時間)とした。

「大切にしたいこと大切に継続する」 このこと、この数年、胸とお腹のあたりで感じ、その重みを感じています。大切にしたい人々から、大切にできるときは前向きなことをしたい。でも僕にとっては「大切に継続する」のは容易ではなく、努力(強い意識)が続けなければ、11の扉に心を配るようになります。また、誰か自身自身の中だけでいいのではなく、共に歩む人々の心と共有すること、誰か来年度大切にしたいの気持ちも大事なこととして感じています。新しく、本ノブレットには変わります。「あゆま」「ゆたかり」「びっぴが子」「わかちあひ」という言葉があります。これは単なる「びっぴ」の名称ではなく、びっぴが大切に継続したいことそのものです。これを大切にしたい保育、子どもへの関わり、どんなものがあるかと僕も学習中、試行錯誤、悪戦苦闘の毎日です。

11月としてこれからびっぴを大切に継続したいこと、共に歩む機会を増やしていくと思っています。そのお場の一つとして、9月に保護者を開催しました。今後各学期1度は同じお場を維持する予定です。(次回12月に計画です。) みんなでゆたかり語りあひ、ゆたかり時間を大切にしたいと思います。

: 懐之介

## ♡ おおきいくみだより

秋らしい空気の気持ちいい一日 野鳥の森を歩きに行きました。近々予定している小浅間山登山を少し意識しての山歩きです。子どもたちの『楽しんで歩く』姿に日々の積み重ねを感じます。2年、3年 森と共にあった子ども達の発見や知識の豊かさには感動しました。往路は「この道は？」→「けもの道の発見」→「川に続いている！」「水を飲みに行くんだね。」又、一番黄色い葉っぱを見つけたら「お下ご ぶらちゃん探して熱中しました。復路は、突然に「どんぐり1組さんには並んど！」と康生くん、あと並ぶ玲月ちゃん、久道くん、そしてゆたかりと知弥くんが「どんぐり2組はここです。嬉しそうに英奈ちゃんか(知)の前へ、続いて「はい、どんぐり3組は並んどください」と輝太くんの声、瑚晴ちゃん、大季くんが並びました。ワスレと「先生..と下山...」震奈ちゃんはお作さんでした。8名のマジック4-1ワークに驚きました。三人の「先生..のマジックカーカード」より言うまでもありません。

11月のアト日 — 1日(月) と 15日(月)

: 真弓

## ♡ オ2回 保護者会の お知らせ

日時 12月3日(金) 9時45分~

場所 キャビン No1

今回はびっぴスタッフ2名が同席して 皆さんでわかちあひの時間としたいと思っています。ご予定をお願いいたします。

## ♡ びっぴ パンフレット

先日、新しいパンフレットを皆様に和読しいました。びっぴの「思い」は変わりませんが、細かい内容がいくつか変わっています。紙限られた紙面に文と写真と写真と載せざるを得ないのが、色合い、配置など考えた写真選びは大変な作業に感じます。びっぴの人数が増えすぎて全員の子どもの写真を載せることも難しく感じました。今年度「わかちあひの写真がかわる」の方、来年度を楽しみに... ご了解ください。



## ♪ 田んぼ「たより」

泥の海の海で田植えをしてから約5ヶ月、昔ながらの足踏み脱穀機でビュンビュンとお米粒を外し、とうとう先日「びのび」の新米を食べることが出来ました。焚き火の上の羽釜のふたを開けた時の甘い香り、お漬物を添えたにっこの真白なご飯をみんなでおしゃべりしながら食べた。4杯、あかわり！食べた人も…！

稲刈りをしてから約1ヶ月の間お日さまに干してもらったお米、おおきくみのみんぱは、その間2回の田んぼの日には「はざ掛けした稲束をひた取り出し抱えてみて「軽〜い！軽〜い！」、「茎が緑〜だったのが茶色に変わった。細く切った」 持ちはな〜と気付きました。稲刈りの日、ガウガウ刈った緑の茎の感触は「はざ掛けの時より」と抱えて稲束の重みを感じたからこの気付きといえます。

「はざ掛けした天日干しのお米がどうして旨いか知ってる？」と先日、農家の方が教えて下さいました。お日さまに干された稲から逆さにつるして稲の米粒に、茎や葉っぱの甘みがじんわりゆっくりに下りてくるから「ふんたよ〜」と。お店で売られているお米の「ほとんど」が稲刈り脱穀後すぐ機械で乾燥して一棗に袋詰めされる一方で、昔ながらの天日干しは手間も時間もおかかります。でも手をかけてお米から、山から流れてくる水や大地の恵みに手を合わせていたお米と感謝するところができるといいます。びのびのみんなの心にも田んぼや稲の一年に「関わること」として、お米を「お米わ〜」と、じんわりじんわり色づいていくことが積み重ねられていくといいなあ… そんなことを考えながら新米をかみ始めました。

これから田んぼにわらやぬかをすき込んで水を入れ、田んぼの冬休中です。カエルや虫たちも土の下にもぐり冬眠の準備中。時々の雪とねぼけ眼で出てきます。また、冬の顔をして田んぼにも会いに行きますよ〜ね。

：美和子

## ♪ 収穫祭のおしらせ

びのびで稲刈りしたもち米を使って、白と赤でべ〜んべ〜んべ〜んお餅をついて、この秋の収穫をお祝いしよう。親子参加の収穫祭です。どうぞ予定ください。

日時) 11月16日(火) 集合 9:30 解散 13:30 ころ

場所) びのびの庭。

持ちもの) 大人の方はマイカッパ、マイおはし、ご持参をお願ひします。

雨天時やお天気があやしい時は朝8時までにメール等で連絡します。その場合、収穫祭は11月17日(水)に「順延」、16日はびのびで通常保育とります。

11月12日(金)までに大人の方の出欠をスタッフまでお知らせください。  
(下記の申し込み書をご提出ください)

## ♪ 衣類や靴などの記名について

先日、真冬の衣服・靴の展示をしました。少しづつ準備をよろしくお願ひいたします。わからぬことはスタッフにお尋ねください。

このころ寒くなり着るものが増えてきて、トイレなどの脱ぎ着の際、タイツや下着など似たりよりのものが多く、混乱することがあります。

どんなものにも必ず「記名していただくよう」お願ひします。(靴下やまた、お下がりやいたいたしたもの、記名の書き換えも靴も!) よろしくお願ひいたします。

収穫祭 参加申し込み書

大人の参加者 お名前



# ひっぴごより

No.10 2010.11.30

愛莉ちゃんが首から下げたシンを嬉しそうにほめています。それを見た果林ちゃんは「かりんも!!」とリュックサックを持ってきました。ごも手袋はありませんでした。すると(愛)「借してあげる!」左手に一つほめてもらい満足そう(果)。ひも一つに付いているので二人は一心同体状態。それからの二人は一緒に行動し、そのうち手袋どうしの手をつなぎ、楽しく笑い合っている。「分けるが増える」... 分かれ合うことで、楽しむや嬉しさが増えるようにです。これ自然にできることが素晴らしいです。

知恵が「大切にしている」ひっぴのベースを、来年度入園希望のママさんにお伝えしました。「ひろがるわかちあい、あいのまま、ゆたたり」も毎年〜在園のお母さんとも再確認できるといいですね。一年間、たこさんの出陣の中で、大人も子どもも育てられてきました。そんな中で「大切にしていること」は一年〜理解を深めていけるでしょう。

「ひろがるわかちあい」... 今、もっとも必要なのは人々の連帯(家族、親類、地域、幼稚園や学校...) であり、みんなが温かい目で子ども達を見守って、いこと。その中で子ども達もまた、周りの人々と温かいつながりを持つことができることを学ぶでしょう。これは子ども達の環境を守り、変えていくことにもつながります。ひっぴは、子どもも大人も、周りの人も自然と手をつないでいくことを実践していく場かなと思っています。

「あいのまま、ゆたたり」... 子どもへの、家族への、周りの人への見方にかが、あればあるほど、固定観念から解放され、接し方もゆたたり... 森の力を借りて、私たちは「中」を拓けていくことを、積み重ねていくかな...

ひっぴの活動が、ひっぴにっつかる一人一人の育ちを促し、未来につなげていくよう、知恵を出し合い、学び合っていきますね。

今年もひっぴの皆さんと、心を合地子どもたちの成長を分かち合え、またたこさん〜交えられ、嬉しい一年でした。本当にありがとうございました。

心をこめて... 漢子



## ＊＊＊おおきいくみだより。

11月のある日。春に一度訪れた森へ、またでかけました。「春はわさびが生えていたよね」と玲月ちゃん。「ぎしぎしがまた食べたいなあ。」と英奈ちゃん。森へつくと、みは久しぶりの仲間間に会えたかのように嬉しそうに走り回ります。康生くん、和弥くん、健太くんは早速、春に遊んでお気に入りの倒木のところへずるずるとがけを登ってでかけていき、「この前は、ここで滑らね、たこはね。」と笑う和弥くん。大季くんと麗史奈ちゃんも春は登れなかったがけの上で、今回は自分一人の力で到達! 下をみおろす大季くんの顔は自信に溢れています。やがて森の中の倒木に座り、語り合う湖晴ちゃんと麗史奈ちゃん。二人の周りに優しいひだまりがみえるようにです。又道くんと英奈ちゃん、玲月ちゃんも森の木立の中をずるずると走り回りながら子羊さんとオオカミごっこ。時折、健太くん、康生くんも助け役で登場したり。突然オオカミにたおたり... 何の変哲もない、森の中。でも、そこにはたくさんの成長と友情、あたたかさ、やさしさと笑顔が溢れています。

12月のアート日 12月16日(木) 菜々鬼

＊＊＊。小さなクリスマスの集まりを計画しています。下記日時にお集まり下さい。

12月17日(金) 1:30~2:00

＊ 1:30には始めますのでよろしくお願いします。



## ＊＊＊田んぼごより

12月稲祭のお餅つき、美味しかったよね。田植え、稲刈り、脱穀、お餅つき、田んぼの一年を振り返る中で子どもたちの中に作られた「大切に」できる気持ち(育、こぎ、こぎ)に思いを、稲刈りが終わる頃にはお米が落ちると田んぼの稲刈り草の中から小さな落ち穂を拾っている何人かの稲刈りさん。小屋を脱穀から出す作業中、突風が吹いてひっぴの庭に散らばってしまった小屋を必死に拾ったみはの小さな手。この遊びの中には火のこぎや脱穀ごんまで... おいしく食べる、そして大切に食べる、当たり前のことですが、子どもたちの姿に教えられ、こぎの日々がある。また春からの田んぼを楽しみにしよう。

美和子



# ひびだより

No.11 2010.12.17

皆さまが喜びと感謝に満ちたクリスマスを過ごされたいように。  
そして新しい思いで新しい年をお迎え下さい。

## \* 3学期の保育日

1月 11(火) 12(水) 14(金) 18(火) 19(水) 21(金) 25(火) 26(水) 28(金)

2月 1(火) 2(水) 4(金) 8(火) 9(水) 15(火) 16(水) 18(金) 22(火) 23(水) 25(金)

3月 1(火) 2(水) 4(金) 8(火) 9(水) 11(金) 15(火) 16(水) 18(金)

- ・ おおきく打は 1/13(木) ~ 月曜日、木曜日。
- ・ おおきく打は 「ありがとうの会」のあと、3/22(火)に お出かけプログラムを予定しています。
- ・ 3/18(金)の今年最後ひび最終日「ありがとうの会」は 一日親子一緒に過ごします。どうぞご予定ください。

\* 次回 保護者会日時 2月 25日(金) 9時45分 ~  
皆さまのご参加をお願ひいたします。

## \* おとしぶきの会のお知らせ

本日、各ご家庭にパンフレットを5部ずつ配付させて頂きました。お返しに引き続き、ひび主催で、お2日お3日を計画いたしました。裏表のパンフレットに、両方とも心深く響くおもしろい会にしたいと思いますので、お出かけ下さい。また、長さんの方に、お声をかけて頂きたいように、お願ひいたします。お託児数に限りがありますので、利用される方は、お早目のお申し込みをお勧めいたします。

(中澤個人は喪中ではありましたが、  
書きたい子ども達の、お年賀状は、喜んで  
受け取りました。子ども達は、いつかまた  
お願ひいたします。)  
手巾





# ひっぴだより

No.12 2011. 1. 28

この冬、年始めの1月8日・9日 飯沼のネイターセンで長野県野外保育研究会が行われました。雪の中で様々な素材を使ったそりでのそり遊び、雪のブロックを積み上げたイヌモエの家「イグルー」作りなどのプログラムを実践しながら集った保育者たちが保育について語り合った二日間。かたまり傾斜のきつい雪の急坂を滑り降りるそり遊びでは、ふうかていしている子も...でも大人は見守り、大丈夫?とすぐには声をかけず、助けに行かずに、「危ないことなんでやらせる?どの辺りで声かける?どこで助け舟出す?」何度もイグルー作りの手を止め、保育者数人で考えたこと、話したこと...

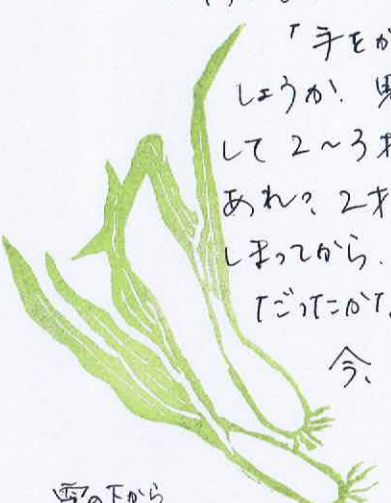
先日のおとひびきの会での柴田愛子さん・小西貴士さんのお話の中で、「(子どもの様子を見て)~大人はここで言っちゃいけないって思っ、うって言葉も飲み込んだのよね。」「僕がここで手を貸すこともできたけど、ちょっと黙って見てたことで、子ども自身から物言いが始まったわけですよ。」

折角の冬前の農業の集まりで、野菜の冬囲いとは何のために?霜おけは?いつ頃やればいいんですか?との質問に、自然農の先輩美香津さん、「野菜それぞれに力があるからあまり過保護にしないでその日守への野菜の声を聞いて、必要ならちよと手を貸すくらいでいいんじゃないかな。霜の下でし〜と美味しくなっていることもあるし。」

子どもと野菜を一緒にしてはいいかもしれないけれど、思うに「自然に育つ力」を持つものには、それを見守る人がどこで手を貸すか、どこで手をかけるか...あれ

「手をかけ過ぎないこと」が育つ力を引き出すコツということができるでしょう。思えば「ひっぴ」を始めたときは、野外での様々なことを想定して2~3年ほどはこんなことは難しいかと予決していたけれど、始めてみるとあれ?2年ほどこんなこともできる?と驚きの連続でした。ちよと手を貸してしまつたら、あ、手伝わなくても自分で出来たかも、ちよと待っていてあげてあげていこうと大人の自分が関わってしまったことを後悔することもしばしば...

今、寒い朝には霜柱で持ち上がった麦の芽を踏んでやる。



雪の下から

「麦踏み」をしようが、マイナス10度の雪の下でじつと春を待つ麦の少し茶色く霜焼けした葉を踏みながら、「育つ力を信じること」そんなことを考えています。  
:美和子

おあきいくみだより ...

12月に絵本「しんせつなともだち」の劇あそびが始まり、年が明け、朝の話し合いの中で、手紙の話が出てきた。そこで「ひっぴの小さいお友だちに見せてあげるっていいの?」と提案するとみんな各々のいの中で考えている様子...突然(康)「決めた!やってみよう!」その声を聞くと、ちよと、照れくさく不安の中にあたごあろうみんなの顔が明るく(英)「私もやってみよう!」(悠)「見せていいよ!」(玲)「いいよ!いいよ!」(湖)「ふんちゃんもやってみよう!」(健)「ほくは頑張る~やってみよう!いいと思うんではない?」(圓)「大ちゃんどうする?」(大)「うん、いいよ」と意外にも何れも返事。手紙の休みの日は和弥ちゃんに、次の週伝えると、笑顔で「おめでとう!」(真)「みんな話のこぼれを覚えてる?」次々に各々のせりふを言い出し出した。

一度だけ、通して練習したけれど、当日は自分たちが楽しんでいようとした。樹を各々の家に見たて、森の中は想像をふくらませてくわいした。三学期に入って昔話の絵本を意識して読んでいこう。「おとこかきと七つの子」を讀んだあとの遊びの時間にはいつかおとこかきと七つの子やどろろかきが始まりました。(健)「ほくおとこかき!」(和)「おとこかきは粉屋に居る!」と雪を集めていこう。(康)「あれ何だ?」(真)「ほくほく?」(康)「え?ほくほくは粉屋に居る!」(湖)(玲)(大)「ほくほくは粉屋に居る!」と言ったものの、おとこかきは合はれず子やどろろかきに困っていた。みんな物語を話してはじめていこうと合はれずおとこかきは、恐ろしくあつた。大喜ちゃんも積極的に入る気にはなれずおとこかきもみんなの劇を見て楽しんでいこう。この「見ている」時期も大切にしてあげたいと思っ、「おとこかきは粉屋に居る!」おとこかきのお腹を叩くのは、(ウエエ)「おとこかきは粉屋に居る?」「ほく、おとこかきは粉屋に居る?」次々に提案があつた。おとこかきは、(大)「おとこかきは粉屋に居る!」おとこかきの世界をみんなに——楽しんでいこう。この一年の終りの関わりが充実してきたからこそ...の雰囲気かしていこう。

2月のアト日 3日(木) 17日(木) :真弓





# ひろびろだより

No.13. 2011. 2.1

森の木々の枝 よくみると 固いからに囲まれた

小さな木の芽がみつけた さむいさむい冬でも

まけるな まけるなと まもって くださる 大地よ♪

朝の集りで最近うたい始めた「まもり」という歌です。きれいなメロディで木々を見上げながら口ずさんでいます。

冬の森林は、葉が落ちてから、何も変わっていないようにみえます。でも、近づいてよくみれば、少しづつ木の芽はふくらみ、固い殻(芽鱗)の中には確かに育っている命があるのです。芽鱗は、幼い芽を冬の寒さと乾燥から守るためにあります。芽鱗はカラカテ、水分を無くすることにより、氷点下10度以下にもなる冬の森でも耐えられるようにしています。そして、その殻をそと剥いてみれば(ごめんね...)中には黄緑色の小さな葉、は。さらにその中にははう、すらと花びらの色。春が新しい芽が包まれているのです。

また、少し森から離れて、全体をみってみると新芽の、ハコが、木の先端がほんのりと赤くそまてきています。夏から少しづつ育まれてきた新しい枝先が、立春からのあたたかい日差しにさらされ、赤くなってきたのです。どの木も春に向けて少しづつ成長し、新しい葉を芽吹かすために枝を伸ばしている今、新しい葉も枝を強い日差しから守るために赤く染めて... (赤らめんという言葉はエニヤとるから持っているのでも...)

子どもたちも冬の間、日々成長してきました。互いに会話をし、手をとって、だり本当にたくさんの関わり合いがみられるようになった2歳さんたち。自己主張をしっかりとし、みんなといっしょいぶつかるなかで自分のあり方、みんなとの関わりを学んでいる3歳さん。4歳さんは自信と余裕さえ感じられるこの頃。

自分を客観的にみつけることもでき、小さい子にうんそ、と手を伸ばして見かけてくれたり、「どうして?」と優しく顔色をのぞきこんで見守ってくれます。固い殻の中で、外にはみえない育ちも、とあるでしょう。少し離れてみるとみえてくるものもあるでしょう。変化が現れる前には、一番わからなくて、つらい時でもあります。けれど、やがて厳しい冬の季節もあわり、春がやってきました。固い殻に守られて、やわらかいお日様にさらされて伸びていく新芽たち。どんとよ 萌葱色の春が行っているのか、楽しみです。

菜々恵

おおきいくみだより



あつという間の一年間だったように思います。そのあつという間に子ども達のたくさんの育ちを感じる事ができました。この4月からおちん最高学年の子ども達は時に関係性の中での育ちがめざましい日々です。その中で種種ねた嬉しや自信が全2のことへのたくましいベースにたついているように思っています。その子ども達に背伸びしてついでというとする3歳さんのやる気・嬉し・おもしろにたくさん寄り添わせてもらい、ちいさな一歩を始めていることは気持ちです。一人一人の子ども達が毎日「生きる!!」を実感しているように感じ、共にいて本当に嬉しく思いました。

今年もたくさん歌いました! 1277の子も達への「ほんとはわか」「にじ」「一人の小さな手」「まもり」のうた、しつりした曲が和気に入りのうたです。歌の「こと」を大切に伝え、その意味や思いを感じながら歌っています。体中がリズムをとり歌っています。手話も入れて歌っています。今はこの一年楽しんできた歌を思い出しながら歌っています。

たくさんの絵本も楽しみました。一日 最新2冊として 一年400冊近く... 絵本を通して目に見えない何かあったかものうれしい気持ちを子ども大人もお互いの中に育っているのを感じます。絵本も歌もみんな心の畑に蒔くちいさな大切な種なのでしょう。

今ここにいる子ども達とかけがえのない一年でした。

3月のアト日

7日(月)

お知らせ

生活調査票は 3/4(金)までに提出をお願いします。

3/16(水)おひかりの会は 朝から親子参加のプログラムです。一年をみんな振り返り、この一年の歩みをたいせつに締めくくりたいと思います。

持ちもの: 親自分のマイカップ・器・お箸など





### ④ 3月日程変更の確認

すでにメールでお知らせしてありますが、3月の日程変更とその内容です。

- 16日(水) ありがとうの会
- 17日(木) おおきいきみ お迎え時 ちびっ子会をもちますのでお集まりください。
- 18日(金) びっぴ おでかけプログラム

びっぴの森の奥深く、初めての道を少し遠くまで歩きます。  
集合・解散はいつものびっぴと同じです。

#### 持ちもの

- 自分で背負えるリュックに おにぎり・水筒・おおきいき・敷きもの 替えの手袋・くつ下 を入れてください。
- 別にいつもの着替え袋一式をお持ちください。こちらはびっぴに置いていきます。
- おやつはこちらで準備します。

- 22日(火) おおきいきみ おでかけプログラム

別所温泉までの電車の旅を楽しみたいと思います。

#### 持ちもの

- 自分で背負えるリュックに 水筒・タオル・必要な着替え
- お昼は温かいものを現地で食べたいと思います。

お昼代は実費を後日集めさせていただきます。  
集合・解散時間・場所は後日詳しくお知らせします。

### ④ 2011年度入園のつどい

4月8日(金) 午前 9:00~9:15 登園 午後 12:30 降園

親子でご参加ください。

持ちものは ありがとうの会と同じです。

